

会 告

本年十月に、左記の要領で、平成八年度東北史学会・弘前大学国史研究会創立四十周年記念合同大会を開催いたします。

記

◎日時 平成八年十月五日・六日

◎場所 弘前文化センター（五日）・弘前大学人文学部（六日）

◎次第

○十月五日午後一時半 公開講演（於弘前文化センター

二階 第一・二会議室）

「古代末期史像を見直す」

東北大学教授

松本宣郎氏

「国人と惣―下剋上の原点―」

大手前女子大学教授

熱田 公氏

○十月五日午後六時 両学会懇親会

（於ホテル法華クラブ弘前店）

○十月六日午前九時―研究発表（於弘前大学人文学部）

なお大会の詳細については、後日、会員の皆さまへ案内を差し上げますが、研究発表をご希望の方は、七月末日まで、本会事務局へ書面でご連絡下さい。

【学界案内】

弘前シンポジウム96 日本史のなかの北の「防御性」集落

日時 十月六日（日）午後一時―四時半 シンポジウム

十月七日（月）午前九時―午後五時 遺跡見学会（バス利用）

会場 弘前駅前市民ホール（ダイエー弘前店四階）

内容 講 演・佐原 眞（国立歴史民俗博物館副館長）

「考古学からみた戦争」

基調報告・三浦圭介（青森県教育庁文化課）

「北日本の古代防御性集落について」

事例報告・畠山 昇（青森県埋蔵文化財センター）

「高屋敷館遺跡について」

パネルディスカッション 佐原 眞・三浦圭介

遠藤 巖（宮城教育大学教授）

工藤雅樹（福島大学教授）

熊田亮介（秋田大学教授）

主催 北方古代史学会「弘前シンポジウム96」実行委員会

（会長・村越 潔）

申込先 弘前大学教育学部・斉藤利男研究室（事務局）

☎〇一七二―三九―三三四五（FAX兼用）